しんゆりシアター

三人姉妹

Три сестры

作　アントン・チェーホフ
翻訳　安達紀子（群像社刊）
演出　五戸真理枝

Антон Павлович Чехов

2018年10月13日（土）～21日（日）

川崎市アートセンターアルテリオ小劇場

料金　一般3,800円　学生2,500円（全席指定・税込）
発売日　2018年9月3日（月）

お問合わせ：川崎市アートセンター 044-955-0107　後援：NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり　助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

しんゆりシアター

Три сестры

三人姉妹

「生きていかなければ……生きていかなければ……。」

時が残酷なほど淡々と過ぎる中で、人々は輝く美しい未来を思う

「将軍」であった亡き父の最後の赴任先で暮らすオリガ、マーシャ、イリーナの三人の姉妹は、平穏だが単調な田舎暮らしの中で、家族で唯一の男性である兄アンドレイの出世を願い、かつて暮らしたモスクワに戻ることを夢見ている。一家の屋敷には軍医チェブティーキン、陸軍大尉ソリョーヌイ、陸軍中尉トゥーゼンバフなど様々な人が頻繁に通い、姉妹の気晴らしになっている。

ある日、モスクワから、かつて亡き父の部下であった陸軍中佐ヴェルシーニンが赴任してくる。憧れのモスクワの風を運んで来た彼の登場に姉妹たちの心は華やぎ、歓迎する。兄アンドレイ、彼が好意を寄せるナターシャ、次女マーシャの夫クルイギンらも巻き込み、単調な日々を過ごす姉妹をめぐる人間模様がゆっくりと動き出す……。

1900年に（1901年初演）執筆され、現在でも世界中で上演されている『三人姉妹』がしんゆりシアターに初登場。傍からみればコミカルに映る一生懸命に生きる人間の姿を、冷静で時に温かい目線で描いたチェーホフの代表作をお楽しみください。

CAST

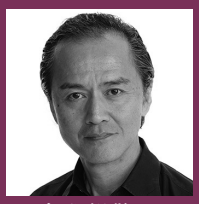
中地美佐子

高橋紀恵

土井真波

藤川三郎

安藤みどり


真那胡敬二

石橋徹郎

長本批呂士

古舘一也

羽場涼介

岩男海史

名取幸政

別府康子

加藤佳男

STAFF

作 アントン・チェーホフ ／ 翻訳 安達紀子（群像社刊） ／ 演出 五戸真理枝
美術 池田ともゆき ／ 衣裳 溝口貴之 ／ 照明 阪口美和 ／ 音楽 国広和毅 ／ 音響 鏑木知宏
振付 酒井麻也子 ／ 舞台監督 仲里良 ／ 演出助手 的早孝起 ／ 宣伝美術 河合さちこ
主催・企画・製作 川崎市アートセンター

SCHEDULE

2018年10月13日（土）～21日（日）

13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日
	13:00	休		14:00	休	14:00	13:00	13:00
18:00		演	19:00		演		18:00	

※開場は開演の30分前

TICKET

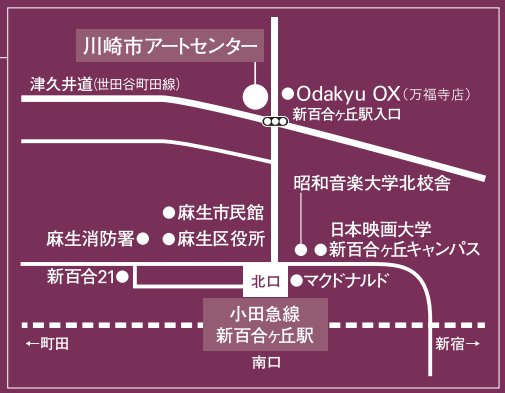
［料金］一般3,800円 学生2,500円（全席指定・税込）
［発売日］2018年9月3日（月）
［取扱い］川崎市アートセンター
web http://kawasaki-ac.jp/
tel 044-959-2255（9:00～19:30 土日祝・原則毎月第二月曜除く）
窓口 9:00～19:30（原則毎月第二月曜除く）
※学生チケットは窓口のみ取扱い。要学生証提示。※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。※車いすでご来場のお客様は、当日なスムーズなご案内のために、予めチケットをご購入の上、川崎市アートセンターまでご連絡ください。

しんゆりシアター

アルテリオ小劇場の主催事業を＜しんゆりシアター＞と名付けました。＜しんゆりシアター＞は地域劇場＝リージョナルシアターを目指します。リージョナルシアターとは劇場が公共性をもって、プロの俳優・スタッフを集め、舞台芸術作品の創造発信を行うことをいいます。劇場の活動を評価するのは地域住民の方々です。この地域劇場を理想とし、私たちは川崎市新百合ヶ丘地域の創造発信の拠点を目指します。

ACCESS

川崎市アートセンターアルテリオ小劇場
（小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分）

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1
tel 044-955-0107 http://kawasaki-ac.jp/
＜駐車場サービスのご案内＞本公演をご鑑賞されるお客様に、Odakyu OX万福寺店駐車場のサービス券（90分）を200円にて発行しております。

お問合わせ
川崎市アートセンター 044-955-0107